



学校だより

駒の子

<学校教育目標>

かしこく やさしく たくましく

2025年11月18日(火) No.5

(担当)
教頭

音楽会 ご参観ありがとうございました

10月29日の音楽会にはたくさんの方にご参観いただきました。今年は児童も保護者も一堂に会しての音楽会となりましたが、駐車場や体育館への入場も大きな混乱なく無事に音楽会を終えることができました。ありがとうございました。子どもたちは学年ごと発達段階によって自分なりの目標をもって演奏に臨みました。「自分が（自分たちが）どういう演奏にしたいか」を大切に取り組み、本校の「学びの足跡」でも大切にしている「どんな自分になりたいか」を音楽会を通して考えることができたと思います。また、たくさんの方の感想を寄せていただきました。いくつかご紹介します。

どの学年も一生懸命練習したのが伝わってきました。自分の子どもが6年生になったら、こんなにカッコよく演奏や合唱するのかなあと、想像してワクワクしました。片付け、あっという間に終わりチームワークを感じました。

音楽会、準備に練習ありがとうございました。合唱も合奏もみんな今まで頑張って取り組んできたんだなあ。とわかる顔つきと演奏でした！家では何を歌うかは本番のお楽しみ！と言われていましたがよく口ずさんでたくさん練習していたので（妹も歌えるようになるほど）とても楽しみで本番もとても良かったです^_^

1年生のお誕生日の歌がとても可愛かったです。初めての音楽会お疲れ様でした。6年生は最後の音楽会でしたね！素敵なお歌で感動しました。また我が子の成長を感じられる音楽会でした。先生方ありがとうございました。

音楽会、息子はとても楽しみにしていました。音楽会までの全校音楽集会も、毎回、どうだったか話してくれました。その中には、どの先生が何の楽器を担当しているかということに、普段一緒に過ごしている先生の持ち味を感じて、一層身近に感じたようでした。当日もみんなとてもいい演奏で、特に最初の全校合奏「翼をください」は、心に深く響きました。どんな思いで生きていきたいかという理想や、互いの音を聞き合い重ねてハーモニーになっていく素晴らしさがみんなから溢れていきました。我が子は3年生です。3年生の演奏も、歌も、音楽と一つになって伸び伸びと表現しているところがとても感動しました。音楽を楽しんでいて、その体験をさせてもらえて、箕輪先生にはいつも感謝でいっぱいです。息子は帰ってきてから、6年生が歌った「HEIWAの鐘」を調べて！と言って、何度も聞きました。いつか歌いたい、と話していました。6年生が歌っていた姿も素敵でした。あこがれの6年生…そういう目標ができたのが素晴らしいなと思いました。ありがとうございました。

座席については、朝の行列を考えると、去年同様の入れ替え制でも良いかなと思いますが、最初から最後までをみる良い機会になりました。

かなりの観客が来られていましたが 大きな騒動もなく皆が協力して、素晴らしい音楽会となりました。プログラムも工夫されており、先生方の演奏、退出まで驚きや喜びがあり全員が楽しめる会になっていたと思います。駐車場の案内もスムーズで、係の皆さんを始め、利用されてる方それぞれが譲り合い協力されていました。



秋のなかよし旬間(11月21日まで)

校長講話 「命の駅伝に込められた思い」

皆さんは「駅伝」という競技を知っていますね。襷をつなぎながら走者が交代してゴールを目指すスポーツです。実はこの仕組みは昔からありました。江戸時代には「飛脚」と呼ばれる人々が交代で走り、江戸から京都までの手紙や荷物を数日で届けていました。まさに命をかけたリレーでした。

この駅伝の精神を受け継いだ活動が「命の駅伝」です。望月の地で、いじめや差別による悲しい出来事が起こったことをきっかけに、「二度と繰り返さない」という強い思いから始まりました。いじめや差別は人の心を深く傷つけ、時には命を奪ってしまいます。だからこそ、命の駅伝では「仲間を大切にしよう」「いじめを許さない」というメッセージを地域の学校へ届け続けています。

「今のメッセージを聞いて、どんなことを感じましたか？いじめをなくすために、自分にできそうなことはありますか？」

(子どもたちからは次のような声がありました。)

「悪ふざけを続けるといじめになるから、やめることが大事だと思う」

「いじめを見たら注意したり先生に伝えたりすることが大切だと思う」

「もし友達が悲しい気持ちになっていたら、自分も悲しい。だから相手の気持ちを考えたい」

「いじめを面白がって笑うのはよくない。止める勇気も持ちたい」

こうした子どもたちの発言から、いじめや差別をなくすために一人ひとりが考え、行動しようとする姿勢が伝わってきました。

校長である私の心の中にも「弱い自分」がいます。勉強ができない、足が遅い、歌が下手…そんな不安を抱えることがあります。そして、自分よりできない人を見ると安心してしまう弱さもあります。しかし、人間は失敗するものです。大切なのは「次にどうするか」を考え、前に進むことです。弱い自分と向き合い、少しでも強い自分になろうと努力することが、人としての成長につながります。

皆さんも、いじめや差別を見たら決して見て見ぬふりをしないでください。仲間を大切にし、力を合わせて明るく楽しい学校をつくっていきましょう

11月21日（金）全校参観日には、人権講演会が行われます。今年は、療育コーディネーターの馬場先生をお招きします。（療育コーディネーター：発達に障がいのある子どもとその家族が地域で安心して生活できるよう、医療、福祉、教育など多分野にまたがる支援の調整役）3年生以上の児童も講演会に参加し、お互いの違いを認め合う機会になればと考えています。ぜひ、お出かけください。

全校参観日のお知らせ



1 日 時 11月21日（金）

2 日 程 13:15～ 5時間目（授業参観）

14:20 1, 2年生下校

14:20～ 講演会「ちがうっていいじゃん～顔の数だけちがうこと～」
さく発達相談支援センター 馬場ひかり 先生

15:30～ 1, 2年学級懇談会

16:00 3年生以上下校

16:10～ 3～6年学級懇談会

3 駐車場 ポール内、バスパーキング、児童館、校庭（今回の侵入口はプール側です）

新しい先生を紹介します

1, 2年生の学習習慣形成のため4月から本校に赴任していた佐藤陽子先生ですが、年度途中ではありますが10月31日をもって浅間中学校へ異動となりました。

後任として、春原恵子先生が着任されました。春原先生はこの3月まで小諸の水明小学校でご勤務されていた先生です。よろしくお願ひします。